

異動 文章例一A

謹啓 [①]の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます
さて私こと
「②」日付をもちまして 「⑥」 「勤務を命ぜられました
心から感謝いたしております
④」 「在任中は 公私にも格別のご指導を賜り
新任務につきましてはその責任の重さを深く自覚し精一杯の努力をいたす
所存でありますので 今後ともご指導ご叱声を賜りますようお願い
申し上げます
まずは略儀ながら お礼かたがたご挨拶申し上げます
令和 [⑤]年 [⑤]月吉日
敬 白
⑥ 〒000-0000 勤務先住所
勤務先名
「お 名 前」
電話(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇(代)

異動 文章例一B

謹啓 [①]の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます
さて私こと
「②」日付をもちまして 「⑥」 「勤務を命ぜられました
心から感謝いたしております
④」 「在任中は 公私にも格別のご指導を賜り
新任務につきましてはその責任の重さを深く自覚し精一杯の努力をいたす
所存でありますので 今後ともご指導ご叱声を賜りますようお願い
申し上げます
まずは略儀ながら お礼かたがたご挨拶申し上げます
令和 [⑤]年 [⑤]月吉日
敬 白
⑥ 〒000-0000 勤務先住所
勤務先名
「お 名 前」
電話(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇(代)

異動 文章例一C

拝啓 [①]の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます
さて私こと
「②」日付をもちまして 「⑥」 「勤務を命ぜられました
心から感謝いたしております
④」 「在任中は 公私にも格別のご厚情を賜り心から
お礼申し上げます
今後とは与えられました新任務に最善を尽くしたいと考えておりますので
今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます
まずは略儀ながら 書中をもちましてお礼かたがたご挨拶申し上げます
令和 [⑤]年 [⑤]月吉日
敬 具
⑥ 〒000-0000 勤務先住所
勤務先名
「お 名 前」
電話(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇(代)

異動 文章例一D

謹啓 [①]の候 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます
さて私こと
このたび「②」日付で 「⑥」 「勤務を命ぜられました
誠にありがとうございます
④」 「在任中は 公私にも一方ならぬご指導を賜り
新しい任務は未熟な私にとりましては 身に余る重責でございますが
微力ながら精一杯努力いたす所存でございますので 今後ともよろしく
ご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げます
まずは略儀ながら お礼かたがたご挨拶申し上げます
令和 [⑤]年 [⑤]月吉日
敬 白
⑥ 〒000-0000 勤務先住所
勤務先名
「お 名 前」
電話(〇〇)〇〇〇〇-〇〇〇〇(代)